



立ち直りを支える人

【Monthly PickUp】

私たちの周りには、犯罪や非行があり、犯罪者となる人たちがいます
しかし、その人たちも、やがて社会に戻り新たな人生を踏み出すときがきます
その新たな一歩に寄り添う人たちのことを皆さんは知っていますか
人の立ち直りを支える人たちの話を聞きました

教

誨師は、全国の刑務所や拘留所、少年院などの矯正施設で死刑囚や受刑者に対して、心の豊かさを説き、改善更生に努める活動をボランティアで行っている人たちのことです。

その教誨師を前橋刑務所で務めるのは大信寺住職の岡田真幸さん。「年2、3回、刑務所に出向き、受刑者たちに話をしています。そこでいつも話すことは生き方のこと。習慣を変えれば行動が変わる、と更生への言葉を投げ掛けています」と話します。

現在、刑務所から出所した受刑者の再入率（再び犯罪を起こし、刑務所に戻ってくる割合）は10年以内に44・7%になっています。これは半数近くが釈放後10年以内に、刑務所に戻ってくるという結果です。

そこには寂しさや孤独感を抱えているのではないかと話す岡田さんは「教誨を行う中で、ある受刑者が出所前の反省文に対して『中学生から何度も書いているから慣れているんだ』と書いていたことがありました。この言葉を聞いて、ずっと怒ら

れて生きてきたんだなど。だから、私は受刑者たちの良い行動をとにかくほめるんです。それが皆さんの喜びにつながり、更生へとつながってくればと思っています」と話します。

最後に岡田さんは「実際、今はどの刑務所も受刑者の年齢層は高く、一生の半分をそこで過ごす人もいます。だからある意味、刑務所が社会のセーフティーネットの役割を果たしています。これは地域で孤立し、刑務所のほうが居心地が良いと感じてしまっているのかもしれない。その問題を解決することも必要なのかもしれませんね」と話してくれました。

刑務所が社会のセーフティーネットに 地域からの孤立を防ぐことが大切

岡田真幸さん（寺中・26区） Okada shinko

邑楽町篠塚の大信寺31代目住職。平成26年から前橋刑務所の教誨師を務め、新入受刑者や出所前の受刑者へ、生き方や更生の教を説く。

保

護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。法務大臣から委嘱され、非常勤の国家公務員として、無給で活動しています。保護司は全国に約4万7千人いて、邑楽町では7人の保護司が活動しています。

町の保護司会で代表を務める、高野正夫さんは活動について「保護司の活動は主に3つ。一つ目は犯罪や非行をした人たちと定期的に面接を行い、更生を図るための約束事を守るように指導し、生活上の助言や就労の手助けなどを行う『保護観察』。二つ目は、刑務所や少年院に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるように、帰る場所の調査や引き受け人との話し合いなどを行い、必要な受け入れ態勢を整える『生活環境の調整』。三つ目は、犯罪や非行を未然に防ぐために、罪を犯した人の更生について理解を深めるための、『啓発活動』です」と話します。

また中には、決められた面接日以外にも、求められれば家などへ出向き、早く社会復帰できるように話を聞いたりする保護司もいるといひます。

保護司



Kono masao 高野正夫さん（秋妻・17区）

平成22年に館林邑楽保護区保護司会の保護司に委嘱され、現在町の保護司会で代表を務める。

保護司が立ち直りを支え 地域がその人を受け入れることが大切

立ち直りの支援は 身近なところから

犯罪や非行を防止することやその立ち直りを支援するというと、難しく聞こえるかもしれませんが。また「犯罪や非行をした人」という言葉からは、怖い、どう接してよいかわからないといったイメージがあるかもしれませんが。

けれど立ち直りの支援は意外に小さなことからできる気がします。例えば、地域に孤立している人がいたら挨拶をしたり、人が困っていたら助けたりと、

何気ない行動が、人の孤立を防ぎ、犯罪を減らすことにつながるのではないのでしょうか。

地域コミュニティの希薄化が問題とされる近年。こうした状況が続くと、孤立する人が増えることになりかねません。

しかし、私たちの周りには、今回取り上げた教誨師や保護司の活動の他、無意識に人の立ち直りを助けている人もきっといるはずです。

そうした誰かの行動が、犯罪や非行を未然に防ぎ、明るい社会をつくっていくきっかけになるのではないのでしょうか。

7月は社会を明るくする運動強調月間です

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることや、それぞれの立場が力を合わせて犯罪や非行のない明るい地域社会を築くことを提唱する運動です。町では、保護司会や更生保護女性会と協力して活動を実施しています。

